

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 02 月 13 日作成)

小委員会名	防水システム性能耐久性評価試験方法小委員会	主 査 名：清水市郎 就任年月：2005 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会防水工事運営委員会	委員長名：田中享二 主 査 名：小野 正
設 置 期 間	2005 年 04 月 ~ 2009 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防水システムの性能耐久性評価の試験方法を確立する。 ・ 防水材料の屋外暴露及び促進耐候性を実施し、劣化の相関性の分析を行なう。 ・ その結果を踏まえ、防水システムの性能耐久性評価試験方法の検討を行なう。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り	
	清水(建材試験センター)、竹本(清水建設)、田中(東工大)、富板(九州大)、岡本(竹中工務店)、成瀬(東急建設)、宮内(東工大)、添田(フジタ)、古賀(国総研)、高根(日本ウレタンセンター)、松村(北総研)、大西(積水ハウス)、荒井(ダイレックス)中沢(ARK)、古市(TRK)、岩本(KRK)、中野(KRK)、梅田(NUK)、榎本(日本シーリング材工業会)、伊藤(日本シーリング材工業会)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2005 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (2005 年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 防水シンポジウム 参加者数 約 150 名 (防水材料の促進耐候性試験方法)
大会研究集会	1. 建築学会大会(近畿大学) 参加者数 約 80 名(防水セッション) (防水材料の耐候性 その 6：シート防水, その 7：改質アスファルト材料の熱劣化, その 8：アスファルト防水材料の熱劣化, その 9：ウレタン防水材の耐候性, その 10：建築用シーリング材の耐候性, その 11：表面劣化状態の定量化に関する研究)
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画の通り、2005 年 10 月に、防水材暴露試験体の 3 年目のサンプリングを終了し、促進耐候性処理後及び、屋外暴露後の防水材料の劣化状態の分析を行ない、同時に、評価手法の検討を行なった。 2. 建築用防水材料の促進耐候性試験方法の研究で、スガウレタン技術振興財団から科学技術賞を授与。 3. ASTM 国際会議に、建築用シーリング材の新耐候性試験法を報告。 4. 建築学会大会(近畿大学)に 6 編の論文を発表。
委員会活動の問題点・課題	1. 促進耐候性及び屋外暴露処理後の試験体の劣化性状の物性分析作業を進め、評価手法の確立を行なう。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。